

# 都市再生整備計画（第3回変更）

おおうら  
大浦地区

ながさき  
長崎県 長崎市

平成21年8月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長崎県	市町村名	ながさきし 長崎市	地区名	おおうら ちく 大浦地区	面積	134 ha
計画期間	昭和 49 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間		平成 17 年度 ~ 平成 21 年度			

### 目標

斜面市街地における生活道路・公園の整備による利便性・安全性の向上等、住環境の改善

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・大浦地区近隣の南山手・東山手地区はかつて外国人居留地に指定されたことから、開発の歴史は古く、そのため多くの文化遺産が残されており、グラバー園を中心に本市観光の拠点となっている。
- ・当地区は傾斜地や高台に市街地が形成されているが、道路や公園等の公共基盤施設の不足や、交通アクセスの不備、木造住宅の老朽化などにより、地区内人口の減少や、地区住民の高齢化が進むなど、住環境に関する多くの問題を抱えている。
- ・近年、当地区において「まちづくり」の気運が高まり、住居環境改善の視点に立った「まちづくり」協議が住民と行政の間で進められており、整備構想が策定されている。

### 課題

- ・当地区は、道路や公園等の公共基盤施設の不足や、住宅の老朽化などにより、地区内人口の減少や、地区住民の高齢化が進むなど、住環境に関する多くの問題を抱えている。このような中、道については、常盤町大浦元町線と川上町出雲線が、生活道路、通学路、緊急医療および災害時の輸送路として重要な路線であるため、早期に整備する必要がある。また、公共交通の利便性が低いため、乗合タクシー等の運行を行っている。さらに、一定規模を有し、地域コミュニティーの核及び災害時の避難地としての公園がなく、整備が求められている。

### 将来ビジョン(中長期)

- ・長崎市総合計画においては、個性と魅力にあふれた都市空間を形成する上で「斜面地を活かしたまちづくり」、安全・快適な道路交通網の整備を行う上で「30分交通圏の都市づくり」、地域の核となり、緑に親しむ公園整備を行う上で「水と緑に親しむ都市空間の創出」を方針としている。
- ・長崎市都市計画マスターplanでは「国際交流の歴史と文化がもたらす情緒あふれる都市づくり」という位置付けのもと、斜面市街地の整備を推進し、都市基盤整備と一体となった住環境の改善と防災性の向上を図ることが地区整備の目標とされている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
生活道路の整備に対する満足度	%	長崎市民満足度調査の結果(道路環境の満足度)	生活道路の改善による利便性の向上	16.2	H15	35.0	H21
防災対策の強化に対する満足度	〃	〃	生活道路の改善による安全性の向上	10.3	H15	25.0	H21
水と緑に親しむ都市空間の創出に対する満足度	〃	〃	公園整備による安らぎと潤いのある都市空間の創出	28.8	H15	60.0	H21

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
・斜面交通対策による住環境の向上 斜面市街地における生活道路などの整備により、地区内の良好な道路ネットワークの形成を図る。その中で地区内のバス路線である常盤町大浦元町線と、低地と高部を結ぶ地区内幹線道路である川上町出雲線の整備を推進する。また、北大浦地区においては、地形的制約等から路線バスの乗り入れがなされていない地域、いわゆる「バス空白地域」となつており、乗合タクシーを運行することで、地域住民の利便性の向上、公共交通機関の利用促進を図る。	街路事業、道路事業、公共交通空白地域対策事業、住宅市街地総合整備事業
・斜面市街地における総合的な住環境の整備 斜面市街地においては、生活道路や公園などの都市基盤整備とあわせ、老朽住宅の建替えを図りながら共同化・強調化や不燃化を促進し、住環境の改善と防災性の向上に配慮した総合的な住環境整備を図る。	街路事業、道路事業、公園事業、住宅市街地総合整備事業
・	

その他

## 交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,757.5	交付限度額	703.0	国費率	0.4
---------	---------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業

提案事業

(参考) 閏連事業

## 大浦地区(長崎県長崎市) 整備方針概要図

目標	斜面市街地における生活道路・公園の整備による利便性・安全性の向上等、住環境の改善	代表的な指標	生活道路の整備に対する満足度 (%)	16.2	(H15年度)	→	35.0	(H21年度)
			防災対策の強化に対する満足度 (%)	10.3	(H15年度)	→	25.0	(H21年度)
			水と緑に親しむ都市空間の創出に対する満足度 (%)	28.8	(H15年度)	→	60.0	(H21年度)

